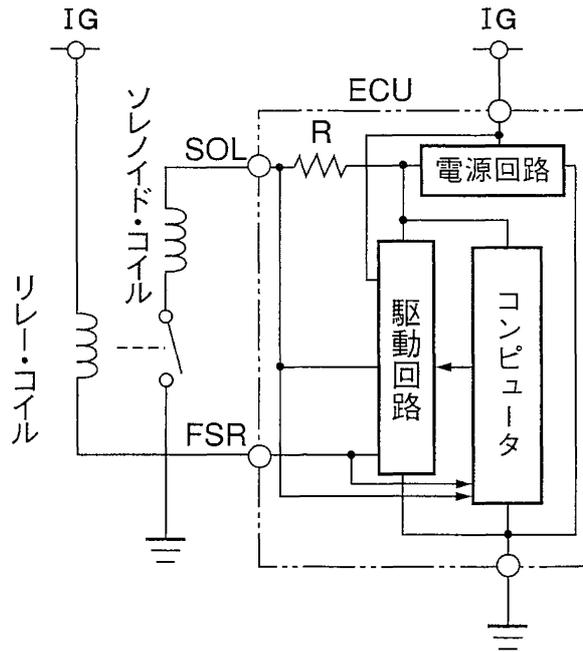


【No.24】 図の ABS 等のスイッチングに用いる断続駆動アクチュエータの異常検知に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

図



- (1) リレー・コイル系の異常検知は、駆動回路 ON 時に、リレー・コイルの駆動情報と、ソレノイド・コイルに発生する電圧の論理と比較して一致しなかった場合に検出する。
- (2) リレー・コイル系の異常検知は、駆動回路 OFF 時に、リレー・コイルと駆動回路間に立ち上がる電圧を検知し、駆動情報と比較して論理が一致しなかった場合に検出する。
- (3) ソレノイド系の異常検知は、リレー駆動の論理を基に、電源回路からの微電流が、リレー接点が ON/OFF したときに、抵抗 (R) とソレノイド・コイル間に発生する電圧の論理と比較して一致しなかった場合に検出する。
- (4) ソレノイド系の異常検知において、リレー接点が ON した後は、ソレノイド・コイルにインパルス電圧を出力し、インパルス電圧の立ち上がりを検知して、立ち上がりが発生しなくなった場合に検出を行う。